

第4学年

道徳学習指導案

平成24年1月27日(金) 第5校時
 場所 教室 在籍児童数 35名

- 1 主 題 名 尊敬と感謝の気持ちをもって 2-(4) 尊敬・感謝
- 2 資 料 名 わたしのお父さん (出典 彩の国の道徳「みんな なかよし」 埼玉県教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は、内容項目2-(4)「生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。」ことをねらいとしている。第1・2学年では、身近で日ごろお世話になっている人々の存在に気づき、それらの人々の善意に感謝する気持ちを具体的な言葉や行動に表すことができるようにすることが求められる。中学年のこの段階においては、感謝する対象を、日ごろお世話になっている人々から日々の生活を支えている様々な人々(特に本資料では、自分たちの生活のために働く人々)へと広げ、それらの人々に対する理解を深め、尊敬と感謝の念をもって接しようとする態度を育てたい。これが、人間生活を支える基本的な精神であると考えからである。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、真面目で礼儀正しい子が多い。しかし、恥ずかしさからか、友達や先生に何かしてもらって感謝の気持ちがあったとしても、すぐに「ありがとう。」と言葉に表せない児童もいる。そこで、「ありがとうがこだまする元気な学校」を合い言葉に感謝の気持ちを意識しながら生活させてきた。

児童は、自分を支えてくれている家族や学校で働く人たち、病院・警察署・消防署などで働く人たちの存在は理解している。しかし、具体的に自分とどうかかわっているのか、他に自分たちを支えてくれている人にどんな人たちがいるのかなど、気づかないことも多い。人間は様々な人々によって様々な形で助けられ、支えられて生きていくことや、それが社会基盤となって、私たちの生活や人間関係を豊かなものにしていくことに気づかせ、人々への尊敬や感謝の念を抱かせたい。

(3) 資料について

毎日農業で忙しく働く父。今日は主人公「由美」の誕生日のお祝いだというのに、父は消防団としての支度を済ませ急いで出かけていく。話合い①では、自分の誕生日なのに外出て行く父親に対する主人公の「どうして?」という不満に共感させる。そして話合い②では、父の言葉や姿をとおして、父への思いを変化させていく由美の気持ちを感じ取らせ、尊敬と感謝について考えさせたい。話合い③では、思わず、お父さんの肩を心を込めてたたき由美の気持ちを、動作化を取り入れ言葉に表すことでより深めたい。

4 研究テーマに迫るための手立て

- (1) 理由や根拠を明らかにして自分の考えを述べさせることで、一人一人の考えを深めさせる。
- (2) 振り返りカードを活用して自分の生活を支えてくれている人々への尊敬・感謝について振り返り、見つけさせることで、これからの実践意欲を高める。

5 本時の学習指導

(1) ねらい

自分たちの生活を支えるために一生懸命働いている人々に対する理解を深め、尊敬と感謝の気持ちをもって接する態度を育てる。

(2) 展 開

段階	学習活動(主な発問)	予想される児童の反応	○指導上の留意点・支援のポイント ◎人権教育上の配慮事項 ◆評価	資料時間
導 入 気 づ く	1 消防団について知る。	・一生懸命働いている。 ・こんな仕事しているんだ。	○消防団の仕事について知らせ、資料への関心を高める。	3分

と ら え る	2 登場人物、条件・情 況について知る。	登場人物 主人公「由美」 ・父 ・母 条件・状況・由美の家は米作り農家。 ・父は農業の他に、消防団でも働く。 ・由美の誕生日中、父は消防団員として火事現場へ向かう。	由美 の顔 条件 状況 カード	
	3 資料「わたしのお父 さん」の範読を聞く。 ・心に残ったところを 発表する。	・誕生日中、お父さんが出 かけるのを見る由美 ・お父さんの肩をたたくお母 さんを見る由美 ・お父さんの話を聞く由美 ・お父さんの肩をたたく由美	○主人公の気持ちを考え、線を引き ながら集中して聞けるようにする。 ◎一人一人に意見を大切にし、わか りやすくまとめながら話題を整理 する。 ◆範読を聞き、自分なりの感想がも てたか。	
	4 主人公の心の変化を 中心に話し合う。 ①由美は、自分の誕生 祝い中に急いで出か けて行ったお父さん を、どんな気持ちで 見ていたのだろう。	・火事でけがをしないかな。 ・心配で眠れない。 ・誕生日のお祝い中なのに、 どうして行ってしまうの。 ・今日だけは行かないで。 ・お父さん、ひどい。 ・そんなに消防団が大事なの	○誕生日のお祝いの途中で出かけて しまう父への、由美の心配や不満 な気持ちに共感させる。 ○消防団の大切さは分かっているが、 今日だけは行ってほしくない、由 美のやりきれなさに気づかせる。	場 面 絵
め る	②お父さんが当然のこ とのように言った言 葉を聞いた由美は、 どんなことを思った のだろう。	・お父さんみたいな人がいる からみんなが安心して暮ら せるんだな。 ・さっきは、行かないでなん て言ってごめんなさい。 ・みんなのために働くお父さ んって、すごい。 ・世の中の人々は、みんな助け 合って生きているんだ。	○疲れていても人のために働く父の 姿や言葉から、父への思いを新た にする由美の気持ちを深く考えさ せる。 ○「誕生日なのに・・・」と不満を 持っていた主人公が、地域や自分 のを守るための仕事をしてい た父に気づき、感謝の気持ちを芽 生えさせていったことに気づかせ たい。	場 面 絵
開	③思わずお母さんと交 代し、心を込めてお 父さんの肩をたたく 由美は、どんなこと を考えていたのだろ う。	・みんなのために働いてくれ てありがとう。お疲れ様。 ・地域を守ることが、私を守 ることとつながっていたんだね。 ・これからもすばらしい仕 事、頑張っってね。	○動作化を取り入れ、由美の心の内 を言葉で表現させることで、父に 対する尊敬と感謝の念を抱かせる。 ◆父の考えに納得し、父に対する尊 敬と感謝の気持ちを表す由美の心 の内を感じ取れたか。	場 面 絵
み つ め る	5 自分の生活を振り返 り、学んだことを振り 返しカードにまとめ る。	・自分はずっとたくさんの人々に支 えられて生きていることに 気づき、感謝している。	○生活を支えてくれている様々な人 々に目を向け、人はみな助け合い、 支え合って生きていることに気づ かせることで、実践意欲を高める。	26分 振 返 り カ ー ド
終 末	6 「朝がくると」の詩 を読む。	・本当にたくさんの人々に支 えられているんだな。	○詩を読み、改めて、多くの人々に 支えられていることに気づき、尊 敬と感謝の念を抱かせて終える。	写 真 3分

6 評価の観点

- ・自分たちの生活を支えるために一生懸命働いている人々に対する理解を深め、尊敬と感謝の気持ちをもって接する態度を育てることができたか。(観察、発言、振り返りカード)